

「家庭基礎」 シラバス (2単位を1つの学年で履修する例)

「家庭基礎」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とします。
使用教科書・副教材等	「家庭基礎」－明日の生活を築く－ 開隆堂

2 学習計画及び学習のねらい

学期	月	学習内容 「いつ何を学ぶのか」	学習のねらい 「何ができるようになるのか、どのような力が身に付くことをめざすのか」
第1学期	4	「家庭基礎」の学習について	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭基礎」を学習するにあたって、学習の意義や内容・方法・評価について理解します。 生活事象を総合的・多面的にとらえ、自分と他者との交流しながら学び、実習や実践をしながら学びます。
	5	青年期の自立と家族・家庭 ① これからの自分の人生	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解します。 長い人生の中の「今」という文脈で、青年期にある自分を見つめなおすことを通じて、これからの人生をどう生きていくかを改めて考えます。
		② 青年期の自立	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した中で、青年期の具体的な生き方や自分自身を見つめ直すことを通じ、これからの生き方や方向性について考えます。 家族の機能は時代とともに変化していくことをおさえ、これから求められる家族の機能について考えます。 生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任をもって行動することが重要であることを理解します。 人生における大きな意思決定の一つである職業選択を、意思決定のプロセスにあてはめて検討します。
	6	③ 人生の課題と意思決定	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健全な発達を支える親や周りのおとなの役割について考えます。 家庭生活が果たす重要性について理解します。 遊びや児童文化の子どもへの影響について考えます。 子育てに関する社会的支援や社会の一員として身近な子どもとのかかわりについて考えます。 子どもの現状を知り、子どもの権利の保障や福祉について考えます。
		次世代を育む ① 子どもとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの人びとに視野を広げ、高齢期の身体的および心理的特徴について理解し、現状の課題について考えます。 高齢者の個人としての側面について理解を深め、生活上の課題について理解します。 身近な高齢者から生きがい、社会参加などを、聞き取ったりするなどの活動を通して具体的に考えます。 人間の尊厳を保つ、守られるとはどういうことかを考えます。 超高齢社会を迎えている現状と課題について理解し、対策を考えます。 地域や社会全体で高齢者を支えるしくみについて考えます。
	7	② 子どもの育つ環境	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解します。 私たちの生涯にわたっての生活保障のしくみについて理解します。
		高齢期を見通す ① 高齢期の生活と課題	
	② 高齢者とかかわる		
	③ 高齢社会を生きる		
	共生社会と福祉 ① 家族・家庭と社会的支援		

		②共生とコミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーションの理念を土台とした社会をつくることが重要であることを理解します。 ・ 共に生きる社会をつくっていくにはどうすればよいかについて考えます。
第2学期	9	食事と健康 ①栄養と食事 ②食品と調理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校での学習を踏まえ、青年期と家族の各ライフステージの栄養的な特徴について理解します。 ・ 食生活に関心を持ち、食事の重要性について考えます。 ・ 食品の栄養的特質と調理上の性質について理解し、目的を明確にした調理実習を通して調理技術を習得します。 ・ 食品の選択と衛生について関心を持ち必要な知識を身につけます。
	10	被服の管理と着装 ①被服の機能と着装	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的慣習への適応などの社会的機能を理解し、被服材料の性能や被服の構成とのかかわりが、深いことを理解します。 ・ 健康で安全かつ快適な衣生活を送ることについて考え、自分の衣生活をふり返ります。 ・ 高校生の着装に関心を持ち、自分の個性をみつめ、自分らしい着装について考えます。
	11	②被服の管理と計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被服の入手、洗濯、保管など、衣生活を自ら管理する知識と技術を習得します。 ・ 組成表示や取り扱い絵表示を理解し、着心地や管理を考えた被服の選択について考えます。
	12	ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身につけます。
第3学期	1	住居と住環境 ①ライフステージと住まい ②快適で安全な住まい ③住まいの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯発達の視点で、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択ができます。 ・ 住まい手やその家族の生活と各ライフステージに応じて考えます。 ・ 安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために、必要な住居の機能について理解します。 ・ 「住生活にまつわる」危険を知り、安全対策を考えます。 ・ 地域コミュニティと共生できる住居の在り方などについて理解し、考えます。 ・ 住環境にかかわる社会的しくみについて理解します。
	2	生涯の経済計画 ①生活に必要な費用と管理 ②将来を見通した経済計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて理解します。 ・ 誰にでも、リスクが発生する可能性があることを認識し、それに備える方法について理解します。 ・ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えます。
		消費者としての 自立と社会参加 ①社会の変化と消費者問題 ②消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する施策について理解します。 ・ 適切な意思決定や消費行動によって意見を表明し、行動することが消費者の責任であることを理解します。
	3	ライフスタイルと環境 ①消費生活と環境とのかかわり ②持続可能な社会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題や資源・エネルギー問題が生じていることを理解します。 ・ 自らの消費行動によって環境負荷を低減させ、環境保全に貢献できるライフスタイルを見直します。 ・ 地球温暖化など環境問題に配慮するライフスタイルを主体的に考えます。
		自己の生活設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の生活に向かって目標を立て、学習した内容とのかかわらせて自分の目指すライフスタイルを実現するために生活を設計します。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点	評価の内容と方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて関心をもったか。 ・ 生活の充実向上を目指そうとしているか。 ・ 学んだことを生活に生かそうとする実践的な態度を身につけたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート，レポートへの取り組み ・ ホームプロジェクトでの実践
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて，自らが課題を見いだしているか。 ・ 課題の解決を目指して思考を深め，適切に判断する力を身に付けているか。 ・ 自らの考えを工夫し創造する能力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ ワークシート，レポートの考察内容
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する技術を総合的に身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームプロジェクトの実践内容，発表内容 ・ ワークシート，レポート
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて理解したか。 ・ 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識を総合的に身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ ワークシート，レポート

4 各学期と年間の評価方法

- 学期ごとの評価は，定期考査を70%，その他の評価を30%として合わせて評価します。
- 年間の評価は1～3学期の成績を総合的に評価して算出します。